

平成 2 6 年

壱岐市議会定例会 6 月会議

行 政 報 告

壱 岐 市

目 次

○はじめに

- (1) 兵庫県朝来市との交流について 1
- (2) 壱岐市庁舎建設の検討について 2
- (3) 社会保障・税番号制度について 3
- (4) 自治公民館への新たな交付金制度について 4

○交流人口の拡大

- (1) 観光振興について 4
- (2) 企業誘致活動について 6

○産業の振興

- (1) 農業の振興について 6
- (2) 水産業の振興について 8
- (3) 商工業の振興と雇用対策について 8

○市民

- (1) 市税等の収入状況について 9
- (2) 臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金について 10
- (3) 時間外窓口の試行的実施について 11
- (4) 壱岐地域生活ホーム「ひまわりの家」について 11
- (5) 原島診療所の開設について 12

○教育

- (1) 長崎がんばらんば国体2014について 12

○病院事業

- (1) 壱岐市民病院について 14

○防災・消防・救急

- (1) 防災対策について 15
- (2) 消防・救急について 16

○議案説明

- (1) 補正予算について 17
- (2) その他の議案について 17

○おわりに 18

行 政 報 告

平成 26 年 壱岐市議会定例会 6 月会議

〇はじめに

本日ここに、平成 26 年 壱岐市議会定例会 6 月会議にあたり、前会議以降、今日までの市政の重要事項等及び今回、補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、平成 26 年春の叙勲の発表において、地方自治功勞として元壱岐市議会議員 ^{あかぎ ひでき} 赤木 英機様が ^{きよくじつそうこうしょう} 旭日双光章 を、消防功勞として元壱岐市消防団勝本地区筆頭副団長 ^{さいとう ひでかず} 斉藤 秀和様が ^{ずいほうそうこうしょう} 瑞宝双光章 を受章されました。

今日まで築かれたご功績に、深甚なる敬意を表しますとともに、この度の栄誉を心からお慶び申し上げます。

それでは、前定例会以降、本日までの市政の重要事項等についてご報告申し上げます。

(1) 兵庫県朝来市との交流について

壱岐市市制施行 10 周年を機に「歴史・教育・経済パートナーシップ宣言」の調印を行った兵庫県朝来市^{あさご}で、去る 4 月 26 日に^{たじま}但馬・食文化まつりが開催され出席いたしました。その折、朝来市長様、朝来市議会議長様をはじめ、関係者皆様と、友好都市・姉妹都市締結についての意見交換を行い、期が熟しつつあることを確認したところであります。

今後は、平成27年開催予定の朝来市市制施行10周年を機に、友好都市・姉妹都市締結に向けて、絆をさらに深めてまいります。

（２）壱岐市庁舎建設の検討について

去る3月14日、壱岐市庁舎建設検討委員会より、壱岐市庁舎建設基本構想（案）の答申を受け、市民皆様に本内容をご承知いただき、庁舎建設に係る議論を深めていただくため、本検討委員会 菊森^{きくもり} 淳文^{あつふみ}会長様、長岡 信一^{ながおか しんいち}副会長様による壱岐市庁舎建設基本構想（案）内容説明会を4月26日から5月6日まで、各町毎に実施いたしました。今後、庁舎を建てるか、建てないか、このことを、市民皆様のご意見、例えば今後実施するアンケート調査などをひとつの参考にしなが、また、議会とも十分協議を重ねながら、本年12月までに、その方向性を決定していきたいと考えております。

仮に建設しないという結論に至った場合は、本議論はここで終了することとなります。また、仮に建設すべきという結論に至った場合、建設場所については、基本構想案の中で、勝本町の亀石地区、旧那賀中学校跡地の2箇所が候補地として挙がっておりますが、一方で、建設場所については、壱岐市にとって極めて大きな事案であり、場所の決定に際しては、今後、市民皆様の意見を聞く機会を設ける等考慮する必要があるとまとめられており、庁舎の建設場所の選択肢は、この2つの候補地だけではないことも明記されております。繰り返しになりますが、今後、市民皆様のご意見を十分お聞きし、議会とも十分協議を重ねながら、庁舎建設についての議論を進

めてまいります。

（３）社会保障・税番号制度について

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」をはじめとする社会保障・税番号制度関連法が昨年５月３１日に公布されました。これを受け、平成２７年１０月に個人番号の付番、平成２８年１月から番号の利用開始、平成２９年７月から地方公共団体における情報連携の開始が予定されております。より公平・公正な負担ときめ細やかな社会保障を実現し、国民の利便性の向上、行政の事務の効率化に資するもので、災害時における被災者支援対策としても活用が期待できるものであります。

本市においても、番号制度導入に向けた全庁的な取り組みが必要となるため、本年３月に壱岐市番号制度検討委員会を立ち上げ、今後の所掌事務を円滑に推進するため専門部会を設置し、協議を進めております。

また、番号制度を円滑に導入するためには、情報連携の根幹を担う地方公共団体のシステム整備が必須となり、国においても平成２６年度予算としてシステム整備費補助金が措置されております。今回、総務省予算に係るシステム整備費について、所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。また、厚生労働省予算に係るシステム整備費についても、国の指示に基づき、今後、整備の予定となっておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

（４）自治公民館への新たな交付金制度について

自治公民館の運営財源となる「自治公民館運営費等交付金」について、安全・安心のまちづくりを推進するため、各自治公民館において自主防災組織の設置や健診の受診率向上など健康づくり推進活動などに対し、新たな交付金を上乗せして交付できるしくみ作りを行うこととしております。この新たな交付金は、平成２６年度の取り組み実績に応じて、平成２７年度から交付することを予定しており、市民皆様、議員各位のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

○交流人口の拡大

（１）観光振興について

平成２５年の観光客延べ数は、５５万７，９１９人で、対前年比１０１．０％でありました。また、開館から５年目を迎えた一支国博物館は、これまでの来館者数が、本年５月末現在で４７万人を超え、順調に推移していると認識しております。本年度は目標数値を１１万人と設定しており、指定管理者と連携を図りながら誘客に努めてまいります。

次に情報発信・誘客活動として、広島市のゆめタウン広島において４月１８日から２０日までの３日間観光物産展を行い、海産物、壱岐牛に加え、今回は鮮魚の販売を行ったところであります。６月には東京都庁、大阪市においても観光物産展を開催し、観光ＰＲや物産販売を行ってまいります。今後、さらに、県内離島市町や観光

連盟と連携し、島の魅力の情報発信に取り組んでまいります。

次に、修学旅行、教育旅行について、本年度、県内から9校、県外から19校、計28校、3,428人が来島予定となっております。5月中旬から随時来島され、田植え、マリンスポーツなど壱岐ならではの体験メニューを満喫され、大変好評をいただいております。

また、5月18日から24日まで実業団の十八銀行、肥後銀行、鹿児島銀行の女子陸上部の監督・コーチ総勢31名による合宿が行われました。原の辻ガイダンス周辺、筒城ふれあい広場、大谷公園グラウンドにおいて練習がなされ、壱岐の豊かな自然環境の中での合宿に、大変好評をいただきました。今後も、合宿誘致について、積極的に働きかけを行ってまいります。

次に、壱岐市のPRを行っていただいている、「i k i i k i サポートショップ」は、現在、福岡市内33店舗、大阪市内1店舗に加え、候補店が東京・大阪に複数店ありますので、認定に向けてさらに努めてまいります。

また、「壱岐に行きたくなる」「壱岐で食べたくなる」写真をプロ・アマ、島内外を問わず募集し、観光振興への気運向上に資することを目的として、写真コンテストを実施することとしております。今回、所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

次に、来る6月8日、壱岐サイクルフェスティバル2014が開催されます。今回は島内外から646人の選手がエントリーされ、

関係者等を含め約 1, 0 0 0 人が来島される予定となっております。
当日は、消防団員皆様をはじめ多くのボランティアスタッフのご協力をいただくこととしており、ここに改めて感謝申し上げる次第であります。また、競技中は、一部交通規制を行いますので、市民皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

(2) 企業誘致活動について

平成 1 9 年に誘致企業として、本市にコールセンターを設立された株式会社 レオパレス 2 1 壱岐コールセンターが職場環境の整備と、さらなる業務の拡大を図るため、事務所を新築され、去る 5 月 1 6 日に開所式が執り行われました。現在は 7 2 名の方が勤務されており、本年 4 月には、壱岐の両高校からも 4 名の採用をいただいております。レオパレス 2 1 をはじめ、誘致企業各社が、本市において、今後も末永く運営を継続していただけるよう、県や県産業振興財団など関係機関の協力を得ながら、サポート体制を充実し、さらに企業立地の促進を図ってまいります。

○産業の振興

(1) 農業の振興について

肉用牛については、本年 4 月の子牛市において、子牛取引価格が市場開設以来の高値を記録し、また、6 月 1 日、2 日に開催された子牛市では、平均価格が 4 月市と比較し、1 頭当たり 4 千円安の

57万3千円となっており、高い水準を保っております。一方、成牛市は、204頭の入場予定であり、繁殖雌牛の減少を危惧しておりますが、石田地区において、100頭規模の共同牛舎建築が計画されており、このような事業に対し、新たな支援策を講じてまいりたいと考えております。

また、特許庁の地域ブランドとしての育成を目的とした地域団体商標に「壱岐牛」が登録されました。これは、壱岐生まれ、壱岐育ちの黒毛和牛で、壱岐市農業協同組合肥育部会の構成員及び日本食肉格付協会が実施する枝肉格付で肉質等級等一定の要件を満たしたものであります。今後、壱岐市農業協同組合をはじめ、関係機関と連携を図り、さらなる壱岐牛の名声の向上、ブランド化を推進してまいります。

水稻については、平成25年産米で高温耐性品種、つや姫、にこまるが、全体作付の60%に達しており、本年産のつや姫は309人、190haの作付けとなり、昨年よりも30haの増となっております。

葉たばこについては、生育が順調であり、揃いも良く、ボリューム感もあり、今回新たに作付された、コーカー319の品種特性に期待をしております。

今後も、農業者皆様、関係機関・団体と連携を図り、農業振興に努めてまいります。

（２）水産業の振興について

平成２５年度の市全体の漁獲量及び漁獲高を昨年と比較いたしますと、漁獲量は、４，８８７トンで１．８％の減、漁獲高は、３６億８千７百万円で３．８３％の減となっております。水産業の低迷を、大変危惧しており、本年度も燃油価格高騰対策事業等各種水産振興事業を継続して実施することとしております。漁獲量の増加と、所得の増収に向け、今後も引き続き、各漁協をはじめ関係機関、団体と連携を図りながら取り組んでまいります。

また、認定漁業者制度については、現在１４９名を認定しており、さらに漁業後継者対策制度についても、３名の方が就業されております。今後も、積極的な活用を期待しております。

（３）商工業の振興と雇用対策について

しま共通地域通貨事業「しまとく通貨」の長崎県全体の販売状況は、平成２５年度で４５万５，７６６セットを販売し、目標の７６パーセントとなっております。本市においては、５万５，３９５セット、換金額が４億５，８４８万７千円となっております。引き続き、事業の周知と販売促進に向けた取り組みを進めてまいります。

消費税増税に伴い、個人消費の落ち込みを和らげるため、壱岐市商工会と連携し、１１，０００円分（５００円券１０枚、１，０００円券６枚）の商品券を、１万円で購入できるプレミアム商品券を、６月２日から１２月１日の期間発売し、市内商店街の活性化及び経済の振興を図ってまいります。

また、しまとく通貨発行事業を壱岐の交流人口拡大に繋げ、地域社会や産業ニーズに応じた人材育成の推進を図り、民間企業等の活力を用いた雇用の拡大に取り組むために、緊急雇用創出事業を活用し、観光産業に携わる人材の育成を図ることとしております。今回、所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

○市民

（１）市税等の収入状況について

平成２５年度の市税の収入状況は、

現年度分調定額 ２２億 ２２６万円

に対し、収入額 ２１億６，６７０万円

で、収納率は ９８．３９％ （前年度９８．２９％）

前年度対比プラス ０．１％であります。

滞納繰越分調定額 ２億８，２８２万円

に対し、収入額 ２，９２９万円

で、収納率は１０．３６％ （前年度１０．０８％）

前年度対比プラス０．２８％であります。

国民健康保険税は、

現年度調定額 ８億７，３２４万円

に対し、収入額 ８億２，５７２万円

で収納率は ９４．５６％ （前年度９４．６７％）

前年度対比マイナス ０．１１％であります。

滞納繰越分調定額 3億4,836万円

に対し、収入額 4,399万円

で、収納率は12.63%（前年度10.03%）

前年度対比プラス2.60%であります。

以上が平成25年度市税の決算収入額であります。

県内の景気の動向は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要及びその反動が見られるものの、個人消費は引き続き緩やかに持ち直しつつあると言われております。

本市においては、依然として基幹産業である第一次産業の低迷等厳しい状況にあります。こうした状況の中、市民皆様や自治公民館長様の納税に対するご理解、ご協力を賜り、現年度市税及び滞納繰越分市税・国民健康保険税については、前年度収納率を上回ることが出来ましたが、現年度国民健康保険税については、わずかに前年度収納率を下回る結果となりました。

市税及び国民健康保険税の滞納繰越分については、公平・公正な税務行政の実現のため、今後も県税務職員との連携を図り、差押え等の各種滞納処分を強力に進め、貴重な自主財源である市税の確保に向けて一層の努力をいたす所存であります。引き続き市民皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

（２）臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金について

臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金については、本年4月から実施された消費税率の引き上げに際し、低所得者に与える

負担の影響に配慮するため、また、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、暫定的・臨時的措置として給付金が支給されるものがあります。臨時福祉給付金は、平成26年1月1日を基準日とし、市民税が非課税である方が支給対象者となります。

子育て世帯臨時特例給付金は、臨時福祉給付金支給対象者以外の方で、一定の要件に該当する方が支給対象者となります。いずれも平成25年分の所得決定後、速やかに支給事務を進めてまいります。

今回、所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

（３）時間外窓口の試行的実施について

市民皆様の緊急なニーズに応えるとともに、利便性の一層の向上を図ることを目的として、時間外窓口の開設を4月、5月の2ヶ月間、毎週月曜日と金曜日の午後7時まで、郷ノ浦庁舎において市民福祉課及び税務課の窓口を開設し、各種証明の発行業務を試行的に実施してまいりました。利用実績は、開設した16日間で、7名の利用者があり、住民票5件、印鑑証明書2件の交付でありました。

今回の試行結果を分析し、市民皆様の利便性の向上対策を図ってまいります。

（４）壱岐地域生活ホーム「ひまわりの家」について

現在、市内で生活されている精神、知的障害をお持ちの方のご家族等が、病気などによる入院や通院で介護できない場合など短期入

所を望まれても、市内には一時的に預ける施設がない状況であります。昨年、障害者総合支援法が施行され、離島や過疎地域における施設の事業運営が緩和されたことから、壱岐地域生活ホーム「ひまわりの家」で短期入所事業の実施について検討を重ねてまいりましたところ、この度、県の事業認可をいただきましたので、今後、速やかに短期入所事業を開始したいと考えております。

今回、施設条例の改正について、提案しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

（５）原島診療所の開設について

市内の無医地区の医療を確保し、市民皆様の健康保持推進に寄与するため、郷ノ浦町原島に光武内科循環器科病院を指定管理者とした原島診療所の開設について、この度、診療開始の準備が整いましたので、６月５日に開所式を行い、診療を開始することとしております。なお、診療日については、毎週木曜日、午後２時から午後４時までを予定しております。

今後も、壱岐医師会、関係機関と連携を図り、市民皆様の健康と壱岐市の医療を守る取り組みを精一杯実践してまいります。

○教育

（１）長崎がんばらんば国体２０１４について

長崎県で４５年ぶりに開催される、第６９回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」が近まってまいりました。

壱岐市での開催競技は、自転車競技（ロード・レース）が、10月13日、昨年のリハーサル大会と同じ19.3kmの周回コースで、成年男子が6周、少年男子が5周で競います。2つのクラスに各都道府県代表計188名が出場します。当日は、交通規制などで市民皆様に大変ご迷惑をお掛けすることとなりますが、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。また、立哨員としてご協力いただく、消防団、自治公民館、交通指導員の皆様には、厚くお礼申し上げます。

次に、ソフトボール競技（成年女子）は、10月18日から20日まで、大谷公園ソフトボール球場と、ふれあい広場で、全国のブロック予選を勝ち抜いた12チームと地元長崎県チームの計13チームにより、3日間で12試合が行われます。試合前日には、監督会議等の各種会議や開会セレモニーも行われる予定となっております。また、来る6月7日、8日に大谷会場で行われる「九州小学生ソフトボール長崎県大会」において、壱岐市ソフトボール協会では県協会の指導のもと、地元の国体放送委員の放送研修が行われる等、本番へ向けての準備が進められております。

また、7月5日、壱岐文化ホールにおいて、開催100日前のカウントダウンイベントを、さらに、8月9日には、オリンピックの聖火にあたる「国体炬火」の「採火式」を、原の辻一支国王都復元公園で行う予定としております。

今後も、本国体が、思い出に残る、素晴らしい大会となりますよう取り組んでまいりますので、市民皆様のさらなるご理解、ご協力

をお願いいたします。

○病院事業

（１）壱岐市民病院について

壱岐市民病院の経営状況について、平成２５年度決算見込は、常勤医師の増により診療体制が充実し、平成２４年度の市民病院・かたばる病院の２病院合算の患者数と比較して、入院で１日平均２０人、外来で２．６人の増で、医業収益は増収となりました。また、医業費用については、患者数の増に伴い薬品費、材料費が増加しておりますが、かたばる病院機能統合による共通経費の削減、人員配置・給与制度見直しによる人件費の圧縮を図り、結果、事業収益は２８億５千８百万円、事業費用は２７億３千５百万円となり、差し引き、１億２千３百万円の黒字となる見込みであります。平成２４年度が１億９千２百万の赤字でありましたので、収支は大きく改善されたところであります。

しかしながら、今後の経営見通しについては、精神病床休床に伴う交付税措置の縮減等の影響が予想されますので、引き続き健全経営に向けた取り組みを進めるとともに、市民皆様に信頼される病院づくりを進めてまいります。

長崎県病院企業団加入については、去る４月２２日から５月１日にかけて、病院企業団構成団体の５市１町を訪問し、各市町長に壱岐市民病院の経営状況をご説明するとともに、平成２７年４月１日の病院企業団加入について正式協議をお願いし、ご了承をいただく

ことが出来ました。

なお、昨年度から継続事業として進めております研修医宿泊施設の整備事業については、本年度中の整備に向け、現在、造成工事に着手しておりますが、本体工事において追加の工事が必要となったため、今回、所要の予算を計上しておりますのでご審議賜りますようお願いいたします。

○防災・消防・救急

（１）防災対策について

平成２６年度、第９回「土砂災害・全国統一防災訓練」を、去る６月１日に芦辺町箱崎諸津地区において、地域住民皆様１１５人と市、消防本部、消防団、長崎県及び警察等関係機関７５人のご参加をいただき、本番さながらの実践訓練を実施いたしました。

今回の土砂災害・全国統一訓練は、長崎県では本市だけの単独参加でありました。梅雨前線集中豪雨により、箱崎地区で土砂災害の発生する危険が極めて高くなったことを想定し、住民主体の避難訓練、一連の情報伝達訓練を行ったところであります。さらに、警察、消防など防災関係機関が連携を図りながら、それぞれの活動を実施していただきました。今後、さらに各機関・団体との連携強化を図り、本訓練の成果を今後の災害対応に活かしてまいります。

また、梅雨入りとなりました昨日６月２日、市内危険個所の防災パトロールを、関係機関、団体から計４５名参加のもと実施し、土砂災害危険個所及び避難所・避難経路の確認等行ったところであります。

ます。

防災対策については、公助の充実はもちろんであります。共助・自助を高めていくことが極めて重要であります。災害に備え、地域における防災力の向上を図るため、自主防災組織の育成や災害時の応援体制として、災害時相互応援協定の締結などを進めてまいります。

（２）消防・救急について

本年５月末現在の災害発生状況は、火災発生件数１５件、救急出動件数は６９６件となっており、昨年同期と比較しますと、火災は４件増、救急は９件減となっております。

壱岐市消防団については、本年４月１日に、^{わりいし}割石 ^{けんめい}賢明団長以下団員９４０名による第４期新体制が発足いたしました。

本年度はポンプ操法の年であり、去る５月１１日に勝本地区大会を皮切りに、６月２２日には芦辺地区、２９日には郷ノ浦、石田地区の大会、そして７月１３日には、壱岐市大会が予定されております。皆様ご承知のとおり、壱岐市消防団は、前回大会、小型ポンプ操法の部で全国優勝を果たすなど、これまで、すばらしい成績を収めており、今回も、各分団が懸命に練習に励み、大会に臨んでおられます。団員皆様をはじめご家族皆様、地域の皆様、所属される職場の皆様に心から敬意と感謝を申し上げる次第であります。各分団のご健闘を期待しております。

次に、来る７月６日午前１０時から壱岐文化ホールにおいて、日

本消防協会 ^{あきもと としふみ} 秋本 敏文会長による市制施行10周年記念特別講演会を開催することとしております。日本の消防についての貴重なご講演であり、消防関係者皆様をはじめ、多くの市民皆様のご来場をお待ちしております。

○議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

（１）補正予算について

本議会に提出いたしております平成26年度補正予算の概要といたしましては、

一般会計補正額 3億5,936万9千円

特別会計補正額 5,980万円

となり、本定例会に提出いたしました補正額の合計は、

4億1,916万9千円

となります。尚、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は

214億3,436万9千円

で、特別会計については 105億1,006万5千円

となります。

また併せて、病院事業会計についても、所要の補正予算を提案しております。

（２）その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、条例の一部改正に係る案件

4 件、平成 2 6 年度予算案件 4 件、平成 2 5 年度予算の専決処分に
係る報告案件 4 件、繰越計算書の報告案件 4 件、合計 1 6 件であり
ます。案件の詳細については、担当部長、課長等から説明をさせて
いただきますのでご了承願います。

何とぞ十分なご審議をいただき、適正なるご判断を賜りますよう
お願い申し上げます。

○おわりに

以上をもちまして、前会議以降の市政の重要事項また政策等につ
いて申し述べましたが、様々な行政課題等に対し、今後も誠心誠意、
全力で取り組んでまいる所存でありますので、議員各位並びに市民
皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、行政報告と
いたします。

平成 2 6 年 6 月 3 日

壱岐市長 白 川 博 一